

こぶねだより

神奈川県立大船高等学校
校長通信 3月号①

校長 富樫 由里子

令和2年3月6日



2月28日の帰りのホームルームで臨時休業の連絡をしてから1週間が経ちました。3月2日は一部の生徒が荷物等の持ち帰りのために登校、そして3日は第35回卒業式。予行練習を行うこともできませんでしたが、389名の卒業生の堂々とした振る舞いに3年間の成長を感じました。また3日の午後と4日は入学手続きのために多くの中学生やその保護者の方に来校いただきました。巣立ちを見送るとともに新たな年度に向けた準備が始まる、そんな1週間でした。



生徒の皆さんは、規則正しい生活を送れていますか？ 発熱や咳などの症状がみられることはありませんか？ 先日、マチコミの登録確認のため、アンケートをお願いするマチコミメールを流しましたが、期待していた全生徒からの回答には至りませんでした。今後、重要な連絡をすることもありますので、未登録の生徒はすぐに登録をお願いします。来週早々、健康観察に関するアンケートをマチコミメールで行いますので、その際には必ず回答をしてください。

そして、勉強は計画的に進んでいるでしょうか。授業や部活動でとても忙しく生活していた2月までとは異なり、今のように自分だけのために時間が使えるときというのもそうあるものではありません。この機会に自分の興味関心のあることをとことん掘り下げてみるのも良いですね。この後郵送で、教科からの課題や新年度に向けて取り組んでほしいこと等を含んだ連絡をする予定ですが、それだけでなく、自ら手足を伸ばして知識や教養の海に飛び込んでほしいと思います。



文部科学省のホームページには「臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト(通称「子供の学び応援サイト」)」が開設されています。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm)

コンテンツは今後充実していく予定とのことです。必要に応じて自らの学びを深めるための参考にしてみてください。

◆卒業式の式辞です。時間短縮のため、例年よりはかなり短い式辞となりました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日皆さんの旅立ちをこの場で祝うことがかなわなかった在校生、そして皆さんの今日の姿をどんなにかご覧になりたかったであろう保護者の皆様の思いも込めて、おめでとうの言葉を贈ります。

皆さんは入学当初からとても活動的で、1年の1学期に開かれた球技大会では多くの種目で優勝するなど、上級生をびっくりさせる存在でした。2年の修学旅行では仲間同士のきずなを深め、3年になってからは勉強のはかどり具合や部活動の運営に悩みながらも大きく成長し、白帆祭や六国祭などの行事でも、持ちまへの行動力で1、2年生を導いてくれました。

思い通りにならなかったこと、悔しい思いをしたこともあったでしょうが、成功も失敗も後悔も、今ここにいる皆さんが存在するためにはなくてはならない経験であったはずです。思い出は作るうとして作るものではなく、我を忘れて何かに夢中で取り組んだとき、忘れられない記憶としてそれぞれの中に残るものだと思います。今皆さんは恐らく、たくさんのそうした思い出の重みを感じているのではないのでしょうか。

心優しい皆さんは、これから、その時々リーダーシップやフォロワーシップを発揮し、多くの人とともに、人生の歩を進めていくことでしょうか。どうぞ忘れないでください、欲しいものは、自分以外の人に与えてこそ手に入れることができるということを。周囲の人たちのために行動することを自らの喜びと思える、そんな皆さんであり続けてください。

皆さん、3年間、私たちとともに大船高校を育ててくれて、本当にありがとうございました。これからも、頭と手足と心、HEAD、HAND、HEART、三つのHを存分に使ってくださいね。皆さんのこれからの充実したものになることを、願ってやみません。

★今月の「こぶねだより」は短いものを複数回発行予定です。学校の様子を少しでも発信していきたいと思います。